

平成 21 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社アイフィスジャパン
代 表 者 名 代表取締役 大沢 和春
(コード番号：7833 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理担当 野口 祥吾
(TEL. 03-5275-6334)

平成 20 年 12 月期第 4 四半期の有価証券評価損および通期業績予想の修正

ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社が保有する連結子会社株式会社キャピタル・アイの株式につきまして有価証券評価損を計上し、あわせて最近の業績の動向および有価証券評価損の内容を踏まえ、通期業績予想および期末配当予想を修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期第 4 四半期における有価証券評価損

(1) 有価証券評価損の内容

	単体	連結
(A)平成 20 年 12 月期第 4 四半期会計期間 (平成 20 年 10 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の有価証券評価損の総額 (=イ-ロ)	139 百万円	一百万円
(イ)平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の有価証券評価損の総額	139 百万円	一百万円
(ロ)直前四半期 (平成 20 年 12 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで) の有価証券評価損の総額	一百万円	一百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成 19 年 12 月期末の純資産額	1,534 百万円	1,462 百万円
(A/B×100)	9.1%	9.6%
(イ/B×100)	9.1%	9.6%
(C)平成 19 年 12 月期の経常利益額	518 百万円	408 百万円
(A/C×100)	27.0%	34.2%
(イ/C×100)	27.0%	34.2%
(D)平成 19 年 12 月期の当期純利益額	306 百万円	166 百万円
(A/D×100)	45.7%	84.1%
(イ/D×100)	45.7%	84.1%

(2) 有価証券評価損計上の理由

当社の連結子会社である株式会社キャピタル・アイにつきまして、市況の急激な悪化により当社が当初想定していた事業計画の達成が困難となったために同社の財務状況に従い、平成20年12月期第4四半期において当社が保有する関連会社株式のうち、株式会社キャピタル・アイ140百万円に対する有価証券評価損を計上することとなりました。

2. 平成20年12月期業績予想の修正（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

(1) 修正の内容

【個別】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,000	400	400	230
今回修正予想 (B)	2,919	343	349	27
増減額 (B-A)	△81	△57	△51	△203
増減率 (%)	△2.7	△14.3	△12.7	△88.3
(ご参考)				
前期 (平成19年12月) 実績	3,048	540	518	306

【連結】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,550	320	320	160
今回修正予想 (B)	3,475	274	280	85
増減額 (B-A)	△75	△46	△40	△75
増減率 (%)	△2.1	△14.4	△12.5	△46.9
(ご参考)				
前期 (平成19年12月) 実績	3,519	431	408	166

(2) 修正の理由

サプライム問題を契機とする世界同時不況は当初の想定より大きな影響を与え、当社グループの主要顧客である本邦金融機関は業績の悪化に伴い大規模なコストカットに着手いたしました。これにより当社グループの印刷受注全体のボリュームの低下を招きました。

また、上記「1. 平成20年12月期第4四半期における有価証券評価損」のとおり、個別業績において139百万円の有価証券評価損を計上するとともに、連結業績において株式会社キャピタル・アイに対する「のれん」の平成20年12月期第4四半期末残高28百万円を減損処理し、同額を特別損失に計上することとなりました。

これらの状況を踏まえた上で平成20年10月31日に公表した平成20年12月期通期業績予想の見直しを個別・連結ともに行うこととなりました。

3. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成20年10月31日)	—	700円	700円
今回修正予想	—	500円	500円
当期実績	—	—	—
前期 (平成19年12月期実績)	—	700円	700円

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を考慮しながら今後の事業展開等を総合的に勘案しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

当期におきましては経済情勢および当社グループの事業環境を鑑み、また、財務基盤の安定を図るための内部留保を考慮した結果、平成 20 年 12 月期の期末配当を 1 株当たり 500 円とさせていただきたく存じます。

※上記業績予想および期末配当予想の修正は現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、未監査であります。従いまして、平成 21 年 1 月 30 日に発表予定の通期決算業績値と異なる場合がある旨ご留意願います。

以 上